



# いちかわ 自然観察ガイドマップ 6

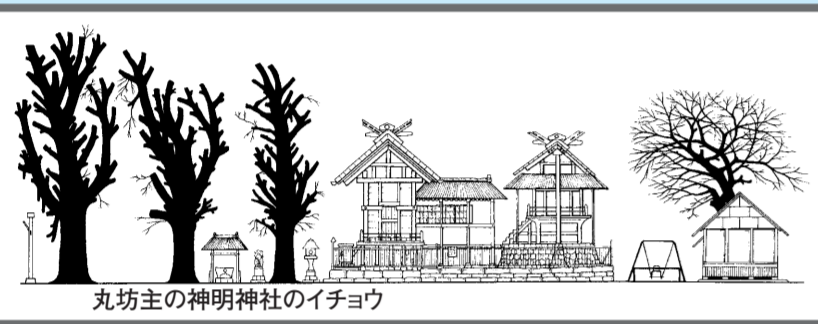
## 南部 II 妙典～行徳～塩浜



21 日枝神社東側のケヤキの巨樹。

押切の稲荷神社の大イチョウとその幹。胸高幹周6.1m、高さ16m。市の保存樹19号に指定されている。

22 23 南行徳小の横に作られた内匠堀ブロード。夏には子どもたちの水遊び場になる。



丸坊主の神明神社のイチョウ



27 観察舎前を流れる川沿いになつている花。浦安市との境界になっている。猫実川につながらない。



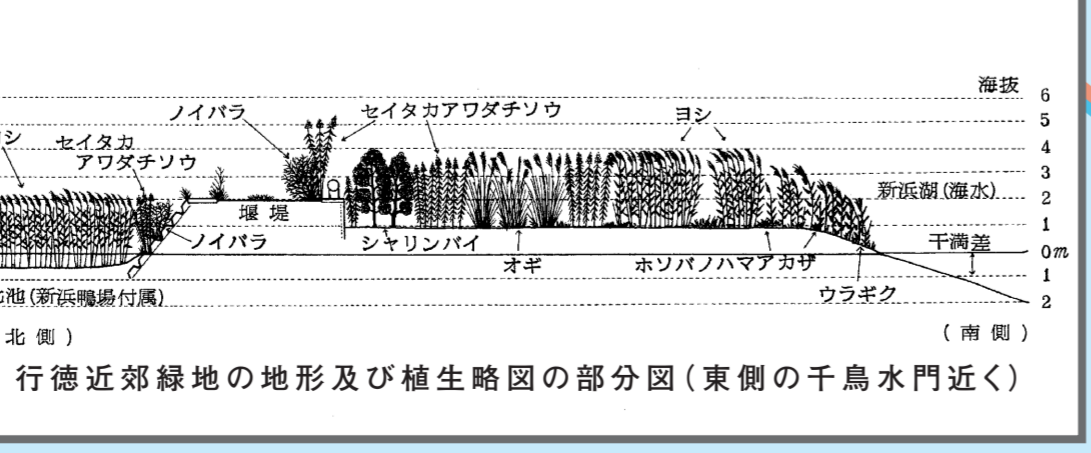
28 野鳥の楽園の南側は、カワウの生息地域。養による樹木の枯死を避けるため、人工やぐらが設置されて効果をあげている。



29 けがした鳥のための野鳥病院。1991年に作られ、年間約600羽の傷病鳥がこゝで羽を休める。

30 ここは治療の終わった鳥たちのリハビリの場でもある。幸いにも完治した鳥は、個体識別の足輪をつけて飛び立っていく。

### 行徳近郊緑地・野鳥観察舎



16 パナマ運河のように、二つの水門で仕切られた水閘門。アユが遡上する頃は、釣りで賑わう。



17 河原の船だまりと正源寺裏の樹木。



18 晩秋の弁天公園。かつては汐除堤とよばれる堤防がすぐ前にあり、マツの林に覆われていたという。



24 春の源心寺。地盤沈下の激しかった頃、六地藏や墓石も沈んでしまったという。



25 相之川・善寺の山門に咲くソメイヨシノ。



1 本八幡方面からの行徳への入り口は、可動堰のある行徳橋とその南の新行徳橋。四季それぞれに彩りを変えて、水辺の生き物たちの生息場所となっている。



2 河川敷に咲く5月のノイバラの花。



3 本行徳の八幡神社。行徳のお寺はイチョウの巨木が多い。



4 可動堰から下流の江戸川(放水路)入り江の部分。生き物たちの宝庫。環境学習の場としても貴重な干潟。



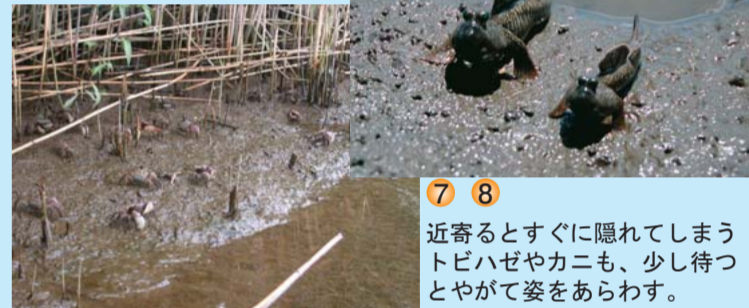
5 妙典公園の南に祀られる八大竜王は、水の神様。



6 妙典中近くの土手から見るグリーンセンター。手前の干潟は、トビハゼたちの生息場所。



7 8 近寄るとすぐに隠れてしまうトビハゼやカニも、少し待つとやがて姿をあらわす。



9 塩地のヨシの中で咲くウラギクの花。土地が乾燥し、塩分濃度が低くなると、別の植物に置き換わって消える傾向がみられる。



10 市川水路につながる中江川のサクラ並木。



三番瀬の海は、豊かな海の幸をもたらしてくれる。年により豊凶の差はあるが、アサリやノリの生産も盛んに行われている。



塩浜の市川漁港先に広がるのりひび。



★植生園3点は市川学園教諭の故石井信義氏が1980年頃にかかれたもの。環境の変化に伴う現況との比較を現地で確かめていただきたい。  
★道路は主なものだけを示してある。  
縮尺は 1:17000.およその目安は6cmが1km。  
0 1km